

<2020 年度研究助成 選考委員長からの講評>

今回も非常に多くの、しかも優れた応募をいただき、御礼申し上げます。ただ、今回の選考に当たり、財団の財政状況等を意識し、助成額を抑えめにしたため、研究目的 研究手法、得られる成果の期待度などが高く評価されたもの全てに助成できなかったことは、残念だと考えています。最終的に選考された研究に比較しても、研究レベルとしては甲乙点けがたいものが、含まれておりました。ただ、選考のギリギリのところでは、研究内容や研究対象からみて、他機関などの助成・補助で研究していただくべき領域とも考えられるか否かを、考慮させていただきました。募集の際に示した、当財団の助成の趣旨の中心的な部分からの距離も考慮したことをお断りいたします。

選考委員長 前田雅英